

漁海況情報第8報 (2021年11月19日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

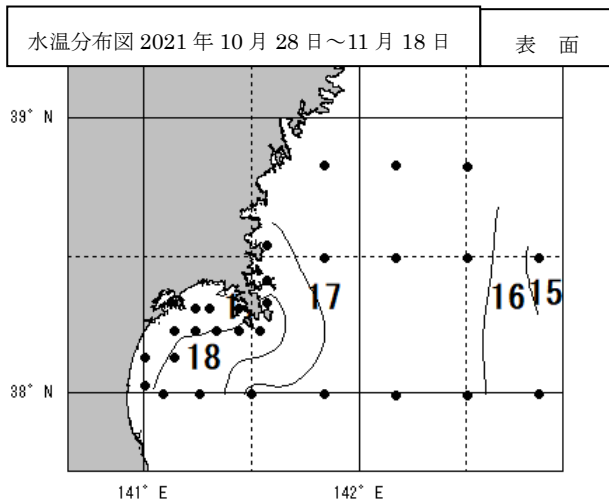
38° N, 142° 30' E 以東に冷水が差し込み、表面で3℃、水深100mで5℃、平年より低くなっています。

宮城県沿岸の表面水温は14～18℃台、100m深水温は4～15℃台となっており、38° N, 142° 30' E 以東に親潮系冷水が差し込み低温となっています。[P1. 水温水平分布図] [P1. 水温平年偏差図] [P2. 水温鉛直断面図]。

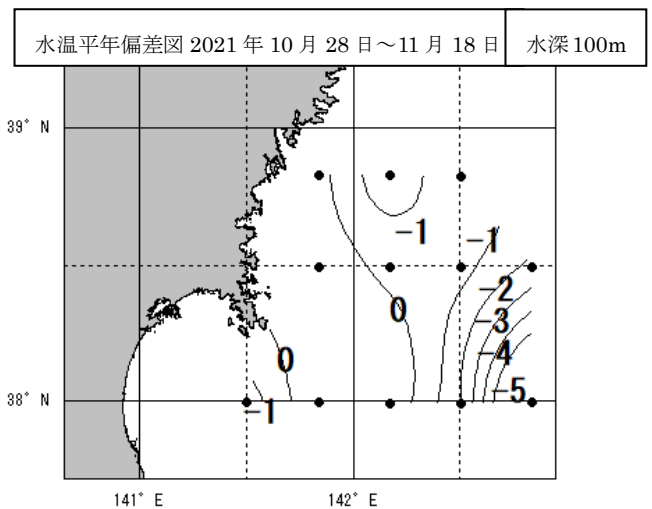
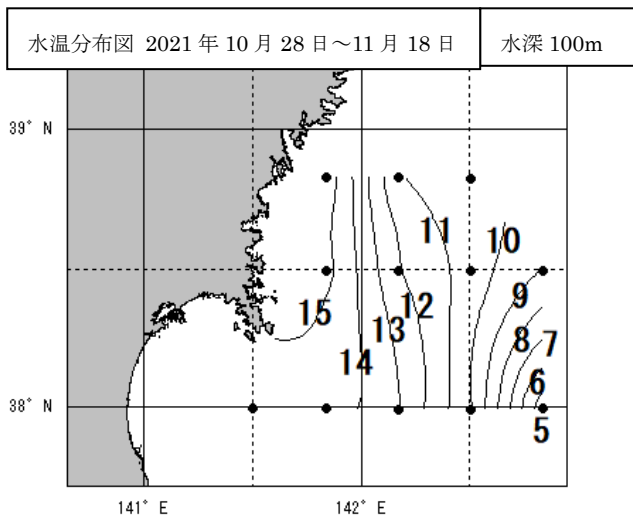
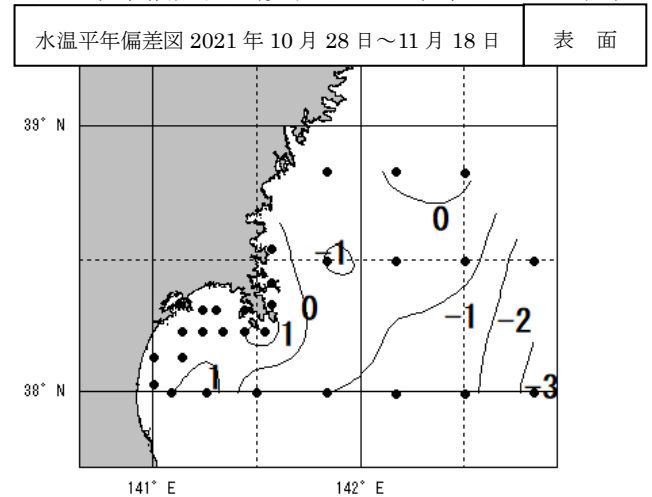
(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮系冷水が暖水塊の南側を潜行し、志津川沖で湧昇して冷水渦を形成しています [P2. 東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

11月上旬の定地水温は15～17℃台で、気仙沼で平年より高め、他の調査点ではやや高めです。田代島では機器のメンテナンスのため欠測となりました [P3. 定地海洋観測図]。海底直上水温は7～19℃台です [P3. 海底直上水温図]。

・ 水温水平分布図

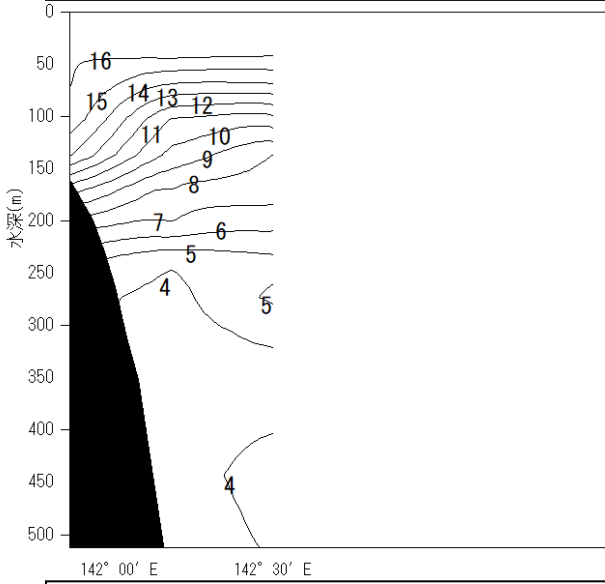


・ 水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

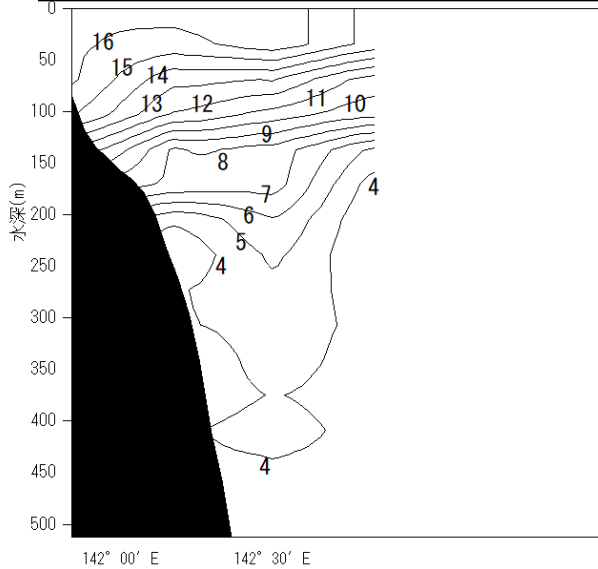


・水温鉛直断面図

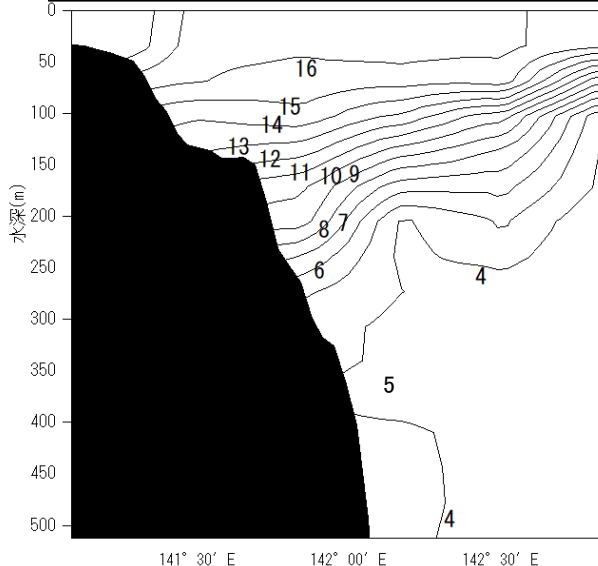
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

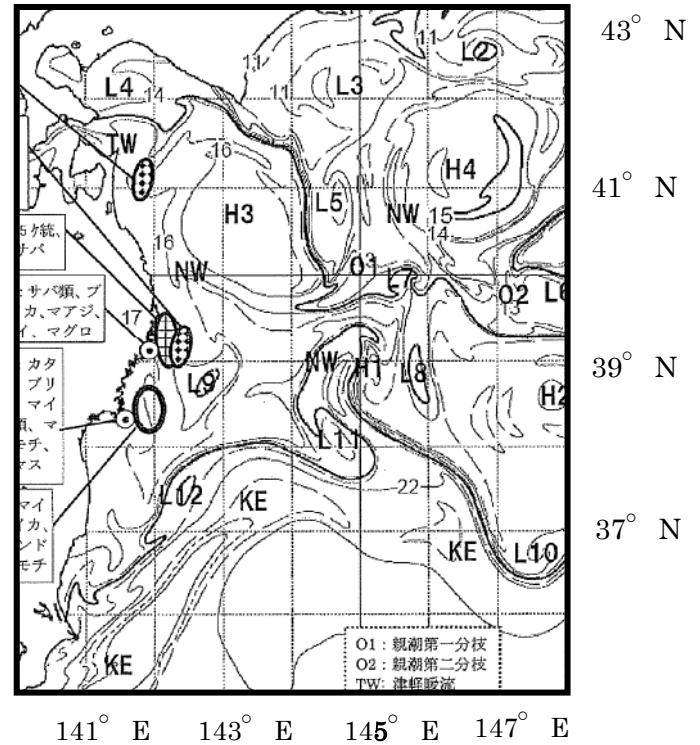


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2021年11月10日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

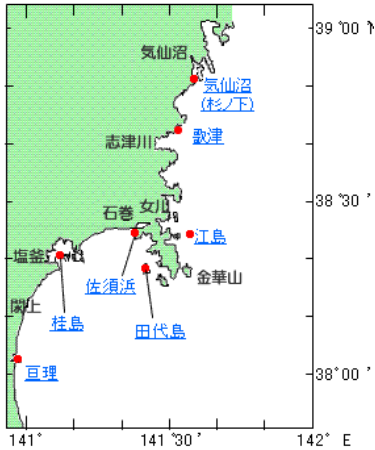
【海況】 (11月10日表面水温)

- ・親潮第一分枝は青森沖を宮古東 100 海里まで南下。
- ・津軽暖流は三陸沿岸を南下。
- ・親潮系冷水は暖水塊の南側を潜行し、志津川東 50 海里周辺で湧昇して冷水渦を形成。
- ・黒潮続流は 1°C 降温して 22~24°C 台となり、小名浜東 120 海里に北上後、東進。
- ・北上暖水は三陸沖を北上し暖水塊を形成。
- ・尻屋崎~大船渡 16°C 台、気仙沼~大津 17°C 台、北茨城~九十九里浜 18~20°C 台。

【漁況】 (11月5~10日)

- ・まき網：1 そうまき網 5ヶ続が岩手沖でマサバを漁獲。2 そうまき網は休漁。
- ・定置網：石巻はカタクチイワシとブリ類、大船渡はサバ類とブリ類主体。
- ・カツオ竿釣：静岡~茨城沿岸と福島沖でカツオを平均 4.2 トン漁獲。
- ・イカ釣：青森は白糠が平均 10 箱。大船渡は 3 夜、平均 30 箱水揚。石巻底曳網はスルメイカ 54 トンとヤリイカ 21 トン、八戸底曳網はスルメイカ 22 トンを水揚。
- ・サンマ棒受：11/6~8 夜に花咲東の海域で平均 6~17 トンを漁獲。

・定地海洋観測



	11月上旬	平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	17.5	高め	1.6
歌津	17.4	やや高め	1.1
江島	17.5	やや高め	0.7
田代島	—	機器調整中	—
佐須浜	17.6	やや高め	1.4
桂島	15.9	やや高め	1.0
巨理	17.3	やや高め	0.8

※平年値＝過去30年

※佐須浜(過去10年)

※歌津(平成28年12月から観測再開)

※桂島(平成24年3月から観測開始)

※巨理(平成24年10月から観測開始)

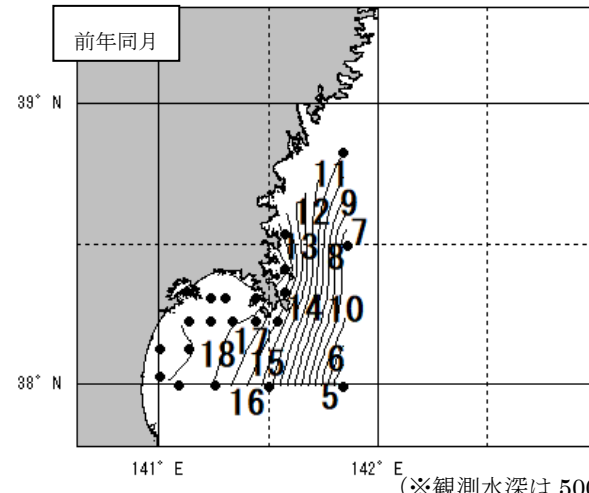
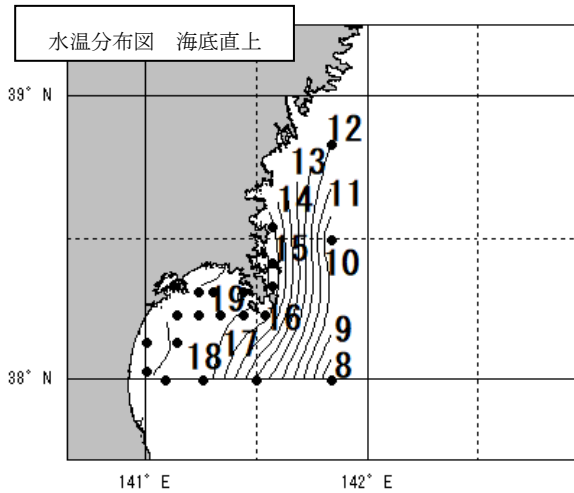
※最新の定地海洋観測結果は、

<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2021年10月28日～11月18日)

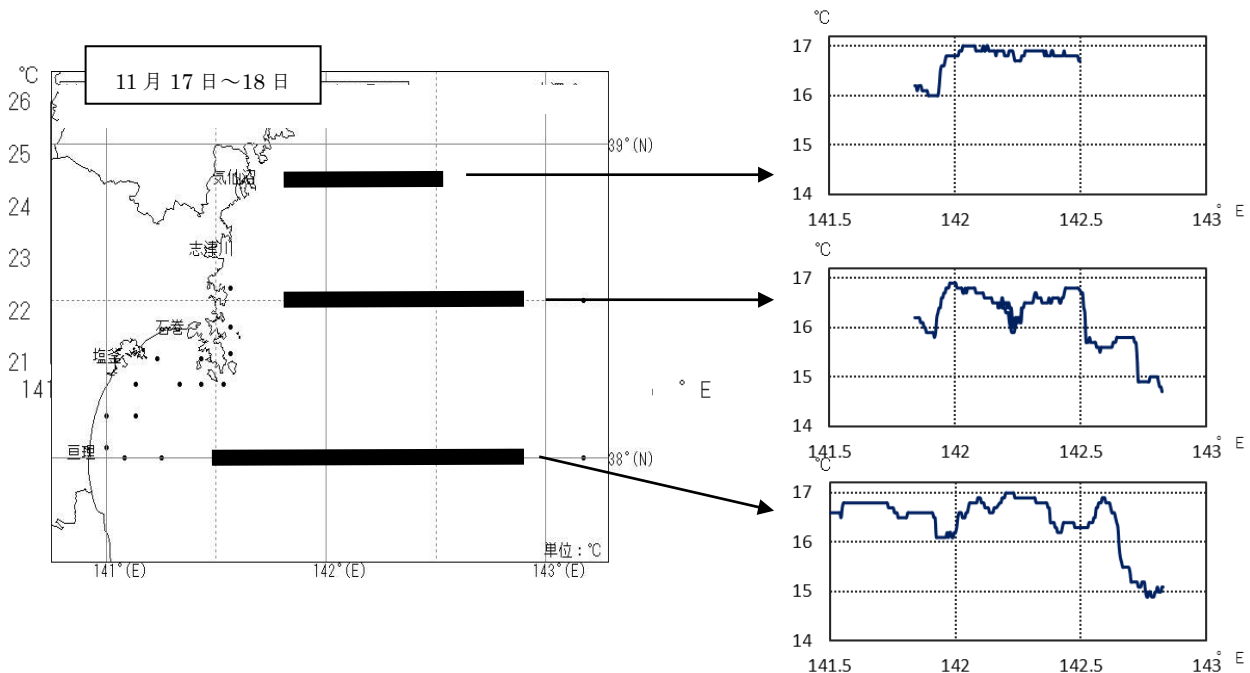
・海底直上水温(2020年10月26日～11月13日)



(※観測水深は500mまでです)

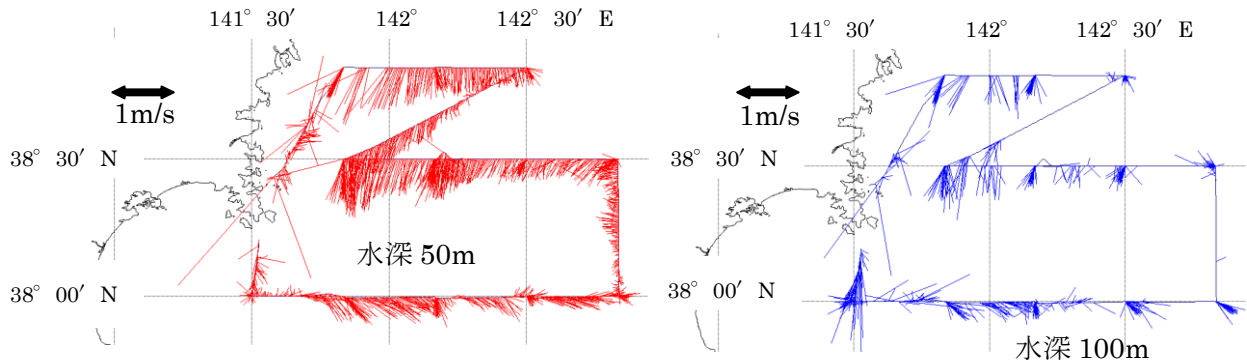
2. 表層水温情報

みやしおによる航走表面水温については、次のとおりです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。142° 30' E 以西で南向きの流れが卓越しています。



※潮汐成分は除去されておりません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

10月の水揚量は前年と比較して、キハダ、クロマグロ、ビンナガ、カタクチイワシなどが増加しています。マガレイ、サンマ、シロサケなどは減少しています。

2021年10月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
ビンナガ									65	0	9	74	138%
メバチ			0						381		0	382	118%
クロマグロ			159			10			6	1	0	175	152%
キハダ			18		6	1			24	0	0	48	345%
サバ類	1430	8				111	4				19	1571	100%
カツオ			739		1542	2	0		0	3	959	3246	134%
ブリ類	1	1				376	6				15	400	76%
マアジ	3	2				27	0				7	40	139%
サンマ				465							2	467	18%
ヒラメ	0	21				3	8				5	37	122%
マコガレイ	0	5				0	1				0	6	43%
マガレイ	0	0				0					0	0	9%
スルメイカ	285	1				0		1				287	49%
ヤリイカ	311	6				1					0	318	121%
マイワシ			6184			38					4	6226	83%
カタクチイワシ						295					19	315	136%
マダラ	9	0					0		0		0	9	46%
サワラ	0	0				22	5		0		1	28	79%
シロサケ	2	0				13	2				19	35	15%
ガザミ		2				0	25				61	88	102%

※0は1トン未満を示しています。

5. 調査船運航計画

みやしお	
11/29	サンマ漁場調査
開洋	
11/29~30	浅海定線調査